

# 第 32 回 HAB 研究機構学術年会

協賛企業（広告・展示）の募集

会 期：2025年5月8日（木）～9日（金）

会 場：湘南アイパーク（藤沢市村岡東 2-26-1）

学術年会長：石田 誠一

（崇城大学 生物生命学部 応用生命科学科 教授）

## 挨拶

謹啓

余寒の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

特定非営利活動法人HAB研究機構の前身であるHAB協議会は、ヒト組織の研究活用に関する学术交流の場として設立され、1994年5月に第1回学術年会を開催しました。その後、2002年には内閣府認証の特定非営利活動法人として法人化し、設立以来一貫して、ヒト組織の有用性を科学的に議論するとともに、法的・倫理的な側面からも検討し、ヒト組織の有効活用のための環境整備に努めてまいりました。

さて、来る5月8日（木）～9日（金）に、第32回学術年会を湘南アイパーク講堂にて開催する運びとなりました。モダリティの進化に伴い、薬物動態学・医薬品安全性学領域の基礎研究も大きく発展しています。本年の学術年会では、原点に立ち返り「vivo と vitro の対話 ―新規試験法のこれから目指すところを考える―」をテーマに掲げ、特別講演およびシンポジウムを企画いたしました。

特別講演では、海外より2名の研究者をお招きし、in vivo・in vitro 双方の視点から「これからの新規試験法がどのように相互補完しつつ進むべきか」について、問題提起と現状報告をしていただきます。シンポジウムでは、「in vitro から見た新規試験法」「in vivo から見た新規試験法」という2つのテーマを設定し、それぞれの観点から最先端の研究と今後の展望についてご講演いただく予定です。さらに、新規試験法関連の技術紹介や、国際MPS学会アジア・パシフィック分科会の活動紹介のセッションを設け、製品紹介や世界における最先端のMPS研究をご紹介します。

本学会は、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催を続けてまいりましたが、一昨年より完全オンサイト開催を再開し、学会および懇親会の場で活発な議論が交わされる機会を改めて実感しております。こうした学术交流の重要性を踏まえ、本年も完全オンサイトで開催いたします。

本学術年会の開催にあたり、本来であれば会員の参加登録費等で運営を賄うべきところですが、実際にはそれだけでは十分ではなく、皆様のご支援に頼らざるを得ない状況です。つきましては、本学術年会の趣旨にご賛同いただき、何卒ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2025年2月吉日

特定非営利活動法人 HAB 研究機構 理事長 寺岡 慧  
第 32 回学術年会長 石田 誠一

## 1. 開催概要

- ・ 会議名称：第 32 回 HAB 研究機構学術年会
- ・ 主 題：vivo と vitro の対話-新規試験法のこれから目指すところを考える-
- ・ 学術年会長：石田 誠一（崇城大学 生物生命学部 応用生命科学科 教授）
- ・ 会 期：2025年5月8日（木）～9日（金）
- ・ 開催場所：湘南ヘルスイノベーションパーク(湘南アイパーク)講堂  
(〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東2丁目26-1)
- ・ 参加予定人数：200名
- ・ 組織委員 梅原 健（大塚製薬株式会社 徳島研究所前臨床研究センター 所長）  
小川 久美子（国立医薬品食品衛生研究所 病理部）  
楠原 洋之（東京大学大学院薬学研究科 教授）  
木内 祐二（昭和大学副学長・医学部 教授）  
関野 祐子（東京大学大学院農学系研究科 特任教授）  
中井 大介（第一三共株式会社 薬物動態研究所 所長）  
長坂 泰久（アステラス製薬株式会社 薬物動態研究所 所長）  
中島 美紀（金沢大学医薬保健研究域薬学系 教授）  
月見 泰博（あすか製薬株式会社創薬研究本部 副本部長）  
檜杖 昌則（ファイザー株式会社）  
平林 英樹（武田薬品工業株式会社 薬物動態研究所 所長）  
古水 雄志（崇城大学 生物生命学部 応用生命科学科）  
山崎 大樹（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）  
吉成 浩一（静岡県立大学大学院薬学研究院 教授）
- ・ プログラム概要 特別講演2  
シンポジウム2  
セッション2  
一般講演  
ランチョンセミナー  
懇親会
- ・ 予定協賛・後援団体（順不同）  
日本生物工学会、日本臓器保存生物医学会、日本薬理学会、化学工学バイオ部会  
日本毒性学会、日本薬物動態学会、日本臨床薬理学会
- ・ 第 32 回 HAB 研究機構学術年会事務局  
〒272-8513 市川市菅野 5-11-13 東京歯科大学 市川総合病院 角膜センター内  
特定非営利活動法人HAB研究機構 事務局  
担当 鈴木 聡  
電話： 047-329-3563、Fax： 047-329-3565、携帯：080-5648-2755  
E-mail： suzuki@hab.or.jp

## 2. 協賛募集概要

### 1) 学術年会プログラム・要旨集広告募集

- ・学術年会プログラム・要旨集印刷部数：300部

※学術年会参加者及び協賛企業へ配布

- ・発行日：2025年4月下旬を予定
- ・規格：A4版（カラー頁、モノクロ頁）
- ・入稿形態：IllustratorまたはPDF

※必ず検証用の画像データを添付してください。

- ・広告掲載規格

表2、表3：カラー（2枠） 100,000円（税別、バナー広告を含む※）

後付：モノクロ 70,000円（税別、バナー広告を含む※）

※学術年会特設サイトにバナー広告掲載を希望される場合は、横340px×高さ110pxで作成の上、リンク先とともにお送り下さい。

- ・2名様を学術年会にご登録いたします。（懇親会を含まず）
- ・お申込み締切日：2025年3月20日（木曜）

### 2) ブース展示募集

- ・会場：湘南アイパーク講堂横ホワイエ
- ・会期：2025年5月8日（木）～9日（金） 9時から17時

※本学術年会は湘南アイパークの1会場のみで2日間にわたり開催いたします。そのためブース展示場（ホワイエ）に見学に出る機会も休憩時間のみに限られておりますが、両日とも一般講演（ポスター展示）を開催しますので、ブースは2日間設置していただき、展示説明はこの一般講演に併せて行っていただきますようお願い申し上げます。

- ・募集小間数：5
- ・出展料：100,000円（税別、バナー広告を含む※）

※学術年会特設サイトにバナー広告掲載を希望される場合は、横340px×高さ110pxで作成の上、リンク先とともにお送り下さい。

- ・2名様を学術年会にご登録いたします。（懇親会を含まず）
- ・お申込み締切日：2025年3月20日（木曜）